

70代、80代、90代のホンネが満載!

¥280

February-March, 2026 Vol.13 通巻16号
GUSU Bimonthly
TOKUSHIMARU



く〜す〜月刊 とくしま

揺れる四〇年代特別寄稿
中村敦夫

老いの一刀
中村敦夫の人生相談

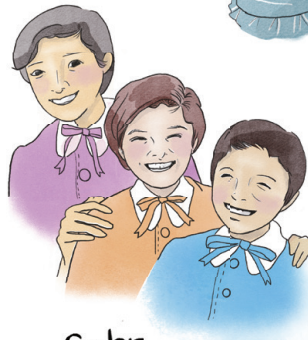
連載コラム
「母の空」 佐高 信

「人生は夕暮れから
が美しい」
松井久子

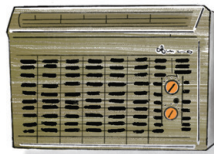


昭和40年代編

特集
その時あなたは？

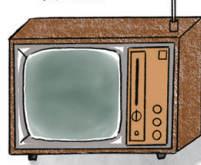


Cooler



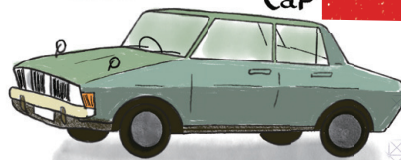
蘇るメロディ
「雪の降る町を」
高 英男

Color television



立ち向かう人達。
左官職人・原田左官工業所
平野未生

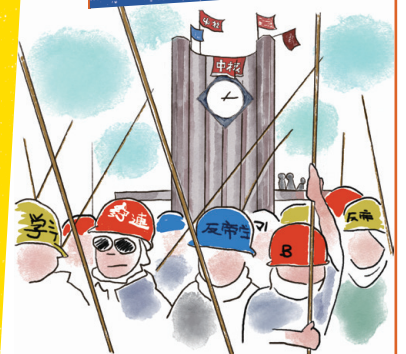
Car



新崎人生の
じんせい体操
テーマ腰痛予防

ゆるりと攻略
カタカナ言葉

大切な味、残したい味
とくしま料理手帖



ぐ〜す〜月刊 とくし丸

2026年2月-3月号

CONTENTS | 目次

- 2 寄って粹な! ごちゃませネタ横丁
- 6 特集
その時あなたは?
昭和40年代編
- 20 老いの一刀
中村敦夫の**人生相談**
- 22 蘇るメロディ
「雪の降る町を」高 英男
- 23 連載コラム | 母の空 | 佐高信
- 24 立ち向かう人達。左官職人・原田左官工業所
平野未生さん
- 28 新崎人生の**じんせい体操**
テーマ **腰痛予防**
- 30 ゆるりと攻略 **カタカナ言葉**
- 32 あたまイキイキ!**ぐ〜す〜パズル**
- 36 全国のとくし丸提携スーパー
- 37 読者のページ **とくとくトーク**
+とくとく五七五
- 48 大切な味、残したい味 **とくし丸料理手帖**
- 50 《大好評連載》
人生は夕暮れからが美しい
松井久子
- 52 読者プレゼント
- 53 編集後記
- 54 お便りと料理レシピを募集しています!
- 55 投稿用切手いらず封筒

読者の皆さんが、10〜30歳代だった頃、昭和40年代を振り返ってみませんか？

今号の特集「その時あなたは？」も3回目となります。過去には、昭和20年代、30年代を取り上げましたが、今回はいよいよ昭和40年代に突入です。ぐ〜す〜のメイン読者である皆さんが、遊び盛り、働き盛り、恋盛りの頃ではなかったでしょうか。

世の中がどんどん変化し、今までになかった新しいモノが次々と登場してきた時代です。木枯し紋次郎こと中村敦夫さんにも「人生相談」にプラスして、特別寄稿してもらいました。バリバリ頑張ってたあの頃を思い出しながら、今号もぜひお楽しみください。



表紙について
暮らしが豊かになっていった昭和40年代。万博やら、月面着陸やら、バンダやら、ワクワクする出来事がたくさんありました。しかし元日本兵の帰国には、戦争が終わっていなかったと思われされました。
題字・表紙デザイン／藤本孝明(如月舎)
イラスト／リュージ

老いの一刀



人生相談なのに面白い、深刻なのに笑っちゃう、なぜか心が軽くなる……
たくさんの共感をいただいている老いの一刀。
今月も紋次郎節が、皆様の悩める想いをいとも軽やかに斬ってくれます。

中村敦夫の人生相談

孫くん、ちよつとツレなくないかい？

孫にLINEを教えてもらったんです。不自由な頭と指で、頑張って文章を打って孫に送ります。なのに、テキストなスタンプが返されて終了なので、意気消沈しています。既読と表示されて返信のないことを「既読スルー」というのですが、スタンプが来るだけまし、と前向きに考えるべきでしょうか。私は孫と会話したいのに。

新潟県O・H(87)

もう数年で九〇才だというのに、LINEを操って孫と交流しようという根性、大し

たもんでござんすねえ。あつしなどは、電子レンジのボタンさえよく分からねえ。ものを書く時も、未だに鉛筆と消しゴムでござんす。それで何の不自由もねえんだから、人それぞれでござんすねえ。

ところで、お主の連絡に対して、そつけない返事ばかりというのはちよつと辛いね。歳の開きがあり過ぎて、うまく話を通じねえのかも。それとも、舐められてるか？ そんな場合は、難儀な話題を投げかけて、相手をドギマ

ギさせるに限る。

例えば、「プーチンとトランプはどちらが阿呆か？」とか。「女性総理の笑いは作りものか？」とか。「あの笑顔はお前さんの好みか？」とか。要するに、答えざるを得ない質問でないと、人間同志は会話を始めない。

相手に興味を持たないと、おざなりの返事で済まそうとする。その方が面倒がないと打算するからでござんす。そこから一歩抜け出すには、相手を刺激するか、ちよつとだけ怒らせる必要あり。



中村敦夫(なかむら・あつお)

1940年(昭和15年)生まれ。1972年「あつしには関わりのねえこととでござんす」の決め台詞で、TVドラマ「木枯し紋次郎」で一世を風靡した。その後も俳優として活躍しつつ、作家、TVキャスター、ジャーナリスト、政治家と様々な分野で活動。現在、朗読劇「線量計が鳴る」DVDと、文庫本「狙われた羊」が話題になっている。

乗る？乗らない？ 悩める私。

同級生4人組、3人はすでに免許返納しており、この数年、遊びに行くときはもっぱらKちゃんの運転です。Kちゃんはしつかりもので運転も達者、乗っていて不安だったことはありませんが、息子からそろそろ乗せてもらうのをやめるようにと言われました。1度や2度は適当に断れますが、いつまでもそうもいかず、しかも私だけ置いてきぼりは悲しい。敦夫さんどうしましょう。

和歌山県橋本節子(89)

あつしに相談されても、何の参考にもなりやせん。昔、アメリカ暮らしで、どうしても免許が必要となった。何度か試験を受けたことがありやすが、一度もパスできたことはねえ。

紋次郎は、山道か裏街道を徒歩で移動するのが習慣なの

で、運転には向かねえのかも知れません。

それにしても、あの鉄板製の箱が、猛スピードで走り回るわけでござんす。命懸けの曲芸と言ってもよござんす。

強盗殺人や意味不明の殺しが増えておりやすが、車の事故死はそれより多い。

本来なら非合法ですが、産業と利便性のためには、皆で黙っているしかねえ。

九〇歳前後の仲良し四人組が、いつ乗車を諦めるかという話は、カードのババ抜きみたいなものやす。先に降りた順番から助かる可能性は高くなるが、事故に巻き込まれた乗員や家族からは恨まれるかも知れねえ。

「平等に」ということであれば、全員即死のサヨナラしか選びようがねえ。

敦夫さんの夕暮れは、 どんな塩梅？

松井久子さんの新連載「人生は夕暮れからが美しい」が楽しみです。私の夕暮れにも何かいいことあればいいのと思います。きつとないですよ。同じく夕暮れどきを生きる敦夫さんには最近にか素敵なことありましたか？教えてください。

埼玉県おかか(69)

人はそれぞれの感性で一生を生きやす。「晩年は美しい」と形容されて喜ぶ人は、多数派じゃねえかも知れやせん。それともあつしの方が少数派ですかねえ。心や感情がほとんど揺れることのねえ変人のあつしは、他人の言説には反応致しやせん。

「豚のような夕暮れ」「どろんこまみれの夕闇」。どれも結構でござんす。ま、あえて贅沢を言わせて

もらえるなら、飢えで苦しむのは避けてえもんでござんす。だって腹が減ったら何もできねえ。子どもから青年時代までは、何度も経験した悲劇でござんすからねえ。

今でも、飢えた子どもたちのドキュメンタリーなんか見ると、胸や腹がしめつけられやす。

絶えず飢饉に見舞われた江戸時代の上州の村々。口減らしのため、生まれたばかりの赤児の口を、こんにやくでふさいだとのこととござんす。姉の機転で命拾いした紋次郎一度自分を葬り去ろうとした社会に、優しい気持ちを持つるわけはねえ。

飢えが迫る夕暮れの風景は、美しかったり、ロマンチックだったりはしねえ。

蘇る
メロディ
14



Yasushi Miyamoto

1951年のNHKラジオドラマ「えり子とともに」の劇中歌として作られ、多くのアーティストによって歌われた。メロディには、中田喜直が山形県鶴岡市で出会った雪の情景が描かれており、毎年2月の「鶴岡音楽祭」ではフィナーレに庄巻の合唱が披露される。

雪の降る町を

〈1953〉 作詞/内村直也・作曲/中田喜直

歌/ 高英男 (こうひでお)

この画像は著作権の関係で表示できません。

1918年生まれ。33歳でパリに留学し、日本にシャンソンを持ち帰る。画家でデザイナーの中原淳一に見出され、1953年レコードデビュー。作曲家の中田喜直の指名により歌った「雪の降る町を」がヒットし、トップスターに。日本初の男性シャンソン歌手として、晩年まで華やかなステージを繰り広げた。

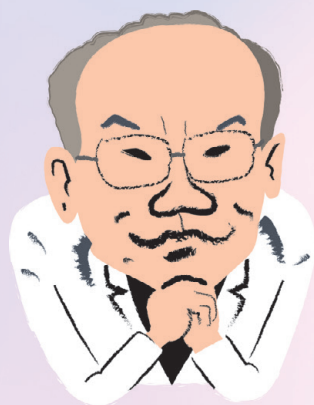
映画「楢山節考」に出てくる母・おりんは静かに手を振って、
 帰れ帰れと、自分を背負って山に入った息子に合図する。
 いつの時代も、どんな状況にあっても、まるで「神」のような存在に、
 佐高信さんは「母に反抗したことがない。そんなことは思いもよらなかった」という。

母の空

16

佐高信
 sataka makoto

一時は親しかった政治記者の田勢康弘が「母と会話すると、すぐ喧嘩腰になるのが私の若い頃の悪い癖であった」と書いているのを読んで仰天した。「それでいて、素直に母に立ち向かえない自分に嫌悪した」と田勢は続けているが、私は母に反抗したことはない。そんなことは思いもよらなかった。深沢七郎が描いた『楢山節考』は木下恵介によって映画化されたが、おりん婆さん役は田中絹代だった。70歳になったら老人は掟によって楢山に捨てられる。母親思いの息子の辰平は、身を切られるような辛さを味わいながら、おりんを背負って楢山に登って行く。そして、置いて帰って来ようとしたら、雪が降って来た。雪が降れば、あまり苦しまずに死ねる。それで辰平は、引き返し



てはならないし、物を言っただけでいいという誓いを破って叫ぶ。「おっかあ、雪が降ってきたよ」
 それに対して、おりんは静かに手を振って、帰れ帰れと合図するのである。
 棄老については、こんな話もある。ある婆さんが息子に背負われて山に捨てられに行く道すがら、手を伸ばしては木の枝を取り、短く折って路上に落とすしている。それを見て息子は、婆さんが帰

るための道しるべをつくっている
 なと思ひ、
 「ばあさん、帰ろうと思っても
 ダメだよ」
 と言う。すると婆さんは、
 「帰りやせんよ。ただ、お前が
 道に迷わんようにと思っただけ」
 と答えるのである。

かつて来日したアインシュタインが、この話を聞いて、いたく感動し、「日本に来て神を見た」と言ったという。

ならば、私の母も「神」だった。反抗はしなかったが、大親不孝をした私が言う資格はまったくないけれども、田中絹代演ずるおりんはそのまま母であり、帰り道を迷わないようにと枝を落とす婆さんもそのまま母である。

夫を早くに亡くして苦労した田勢の母親は、それでも「おまえには親孝行してもらったよ」と田勢に言ったというが、あるいは私の母は「おまえには親不孝をしても良かったよ」と本当は言いたかったのかもしれない……。

佐高 信（さたかまこと） 1945年、山形県生まれ。80歳。慶應義塾大学法学部卒。高校教師、経済誌編集者を経て評論家に。「社畜」という言葉で日本の企業社会、経営者批評で注目を浴びる。雑誌『噂の真相』『サンデー毎日』『週刊金曜日』などで連載を執筆していた。憲法、教育などでも辛口の評論で知られる。旬報社から『佐高信評伝選』刊行中、『自民党と創価学会』（集英社）ほか著書多数。浜矩子氏や望月衣塑子氏ら、鋭い論客との共著も多い。

じんせい体操



テーマ 腰痛予防

「腰が重だるい」「朝、腰が伸びにくい」と感じていませんか？
その不調は、体幹やお尻まわりの筋力低下の影響かも知れません。腰を支える筋肉をやさしく鍛え、無理のない動きで、腰をラクにする体づくりを目指しましょう。

膝つきプランク

(10秒、慣れてきたら20秒)

プランクとは、英語の「板(plank)」に由来する体幹トレーニングのこと。

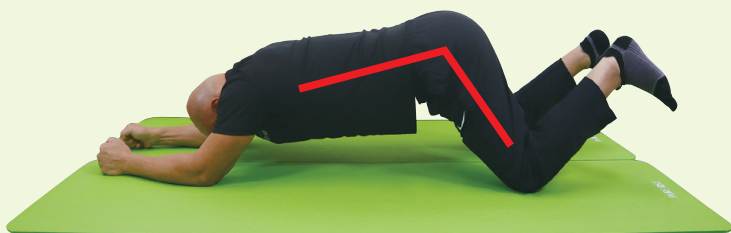


- 1 うつ伏せになり、ひじを肩の真下につく。
- 2 膝をつき両足を上げ、おなかを持ち上げ、頭からお尻まで一直線に保つ。
- 3 おなかに軽く力を入れ、自然な呼吸を続ける。
この姿勢を10秒保ちましょう。慣れてきたら20秒に。



《悪い例》

体が「く」の字にならないように。



ポイント

- ★おなかで体を支えるイメージで。
- ★首・肩に力を入れすぎない。

ごりやく

- ★体幹(おなかや腰まわりの体を支える筋肉)を安定させることで、腰にかかる負担を減らし、腰痛予防につながります。

ヒップリフト(お尻上げ)

10秒、慣れてきたら20秒

1 仰向けに寝て、両膝を立てる。



2 かかとで床を押すようにして、お尻を持ち上げる。

3 肩・腰・膝を一直線に保つ。この姿勢を10秒保ちましょう。慣れてきたら20秒に。

× 《悪い例》
腰をそらしすぎて、背中が大きく弓なりにならないように。



新崎人生(しんざき・じんせい)

1966年、徳島県生まれ。東北地方を中心に活動しているプロレス団体[みちのくプロレス](本拠地・岩手県滝沢市)所属のプロレスラーであり、社長でもある。宮城県仙台市では『徳島ラーメン人生』を経営。高齢者体力づくり支援士、阿波とくしま観光大使。身長180cm、体重108kg。

- ポイント**
 - ★腰ではなく、お尻を持ち上げる意識で。
 - ★お尻を上げるときに息を吐き、下ろすときに吸う。
- ごりやく**
 - お尻と太ももの裏を鍛えることで、腰を支える力が高まり、腰痛予防につながります。

寝床で1日10秒
続けてみましょう!



スマホをお持ちの方は、こちらの動画もご参考に。
『新崎人生ちゃんねる』
足腰がよみがえる三種の神トレ



Yasushi Miyamoto

読者のページ

読者のページ

2月は如月（きさらぎ）、3月は弥生。と言うのはご存じだと思いますが、こんな別名もあります。2月・雪消月（ゆきげつき）、3月・夢見月。昔の人は粋ですね。

一筆

出雲の旅

京都府かずちゃん(82)

2人の娘と夫婦で出雲の旅。私は1人で歩けないヨボヨボのおばあちゃん。杖、車イスで紙パンツ、パットのトイレ対策。そして島根のおばあちゃんも杖、車イス。孫夫婦がおばあちゃんのお守り。

五時間かけて足立美術館。入館する前から嬉しくてソワソワ、ドキドキ。美術館の世界一の名庭、山を借景の庭、只々日本の美に酔いしれました。

横山大観さんのもみじの絵。あまりの迫力と鮮やかさに引き込まれる感覚、実物はすごいね！ほかの方の作品も素晴しかった。

時を忘れて、ず〜っといたかったけど、何しろ車イスの身。押し

手の思いのまま。でもありがたい。良い思い出が出来ました。

足立美術館の庭園は米国の専門誌で22年連続日本一に選ばれています。庭園自体が一幅の絵画。娘さんやお孫さんたちと一緒に至福の時を過ごされたようですね。横山大観の「紅葉」、美しいです。

秘実話

もう転ばないヨ!

岡山県的場章枝(94)

年末も近づきトジングルベルを病院で耳にするのかな…と思う日々が続いた…。

9月21日夕方4時頃、トイレでフラツと転倒して…話せば長いので端折ります。夜11時に救急で入院。11月21日に退院！一日我が家で寝て、またトイレでお尻からくずれるように転倒。救急車のお世話に再度なりました。

体中の力が抜け、まるで「魔法」にかかったようで2〜3日は

どうなったか理解ができず（会話はできていた）、やっとポータブルトイレ。それも看護師さんの見守りと手をかりて…。毎日のリハビリも頑張ったヨ!! やつと我が家に帰れた。

3ヶ月は一人、部屋で「しずかごぜん」。お便りも出来ずごめんさい。「もう転ばないヨ!」とお便りしようと思いつながら2度も入院!! お笑い下さい。長い人生だから山も谷もありますが、住友編集長のお電話で勇気をもらい、また、書いてみようかと…。今日の夢明日につなぎ年新た…。プチマフラァを巻き、風邪ひかないようにするネ。

編集部一同、心配していました。「退院した」と聞いたと思ったら、直ぐに「また入院」の知らせ。耳を疑いました。でも少しだけ笑っちゃいましたけど。「もう、的場さんったら〜」という感じで（笑）。でも良かった。自宅で年が越せて。二度あることは三度ある…なんてことにはならないように、くれぐれもご注意ください。

あゝ勘違い!

長野県 中田勝子(81)

今から45年位前のことです。既
に私は嫁いでいて、実家に遊びに
行っていた時の事です。東京の学
校に行っていた姪からの電話で電
話交換手の方から「〇〇さんか
らの電話ですが、コレクトコールで
よろしいですか?」。

電話に出た母「ハイ、昨日お医
者に行きコレステロールはちよう
ど良いと言われました」。私が交
替して電話に出ました。大笑い。
今でも思い出し笑います。

電話交換手の方
もさぞや驚かれ
たでしょうね。

この面白さは昭
和ならでは。携



帯電話が主流の今、若い子たちに
は「コレクトコール」自体が分か
らないかも知れませんか。公衆電
話の掛け方すら分からない子も増
えているそうですから。

懐かしい風景

埼玉県 風早廂(85)

65年前の田舎をユーチューブで
見て、村中どこも思い出一杯。ユー
チューブで、生れ育った田舎の村
を検索したら数多く出てきて2、
3日ぐづげ。

小さい時歩いた道、親戚の家々
から同級生の家、神社、学校、
役場、ほんとうに懐かしい風景。
小さな道まで出てきて、下りた
所が酒店だったと思ひ見ていた
ら店の名前を思い出し、そのま
ま屋号があった。昭和30年代の
国会議員のポスターがいまも米
屋に貼られたまま。

小学、中学で500人いた子供
は現在60人と減った。まもなく統
合するとの事。生れ育った土地は
歳をとる程懐かしい。

知らなかった歴史を今知る事も
多くて、小さい時、田舎を出て都
会に住むと、田舎の風景がなんと
もいえない心の肥やしになる。つ
づく田舎を持っていて幸せだと

65年も前の風景がユーチューブで
見られるなんて知りませんでした。
「ふるさととは遠きにありて想うも
の」だったはずがユーチューブの
中に入ったとは!

手作りバッグ

静岡県 ヒイババ(84)

娘と仲よしの秋田犬、大きく、
とてもとても大人しいワンチャン。
娘が幼稚園から帰る頃、子供達の
声がするとしっぽを振って待つて
います。

他の子供達はちよつと離れて、
娘は首にしがみつき背中に乗っ
て大よろこび。私はさわること
は出来ませんが、主人も大よろこ
び。毎日、犬と娘の幸せな時間
です。

この通園バッグは孫が幼稚園
に入園する時、私がミシン刺
しゅうをして作ったものです。
パレードは裏にもつづいていま



す。これと同じのを孫の子供
(ひ孫)にも作ってあげたいと
思います。孫の子供(ひ孫)の
も上手に出来るとうれしいな。
ヒイババの楽しみです。

これはお孫さん
も嬉しかったで
しょうね。まる
で「夢の国」の
公式グッズのよ



う。ひ孫さんに作ってあげて、成
長する姿を元氣に見守らないとい
けませんね。

「読めない地名」

東京都横倉千晴（60代）

豊見城

（とみぐすく）

初めて知ったときは読めませんでした。

沖縄本島南部の市。本来は「とみぐすく」ですが「とみしろ」と言う読み方も慣例化しているようです。

好きな方言

あるでないで

徳島県とーるちゃん（56）

徳島県の代表的な方言のひとつ。「あるじゃないの、あるでしょ！」という意味ですが、「ある」のか「ない」のか戸惑いますよね。

もの申す

売り切れに、喝！

大阪府濱中珠羽音（11）

私、シール帳をしていて、シール帳の透明リフィル（*）と、透明のバインダーが100円ショップに売ってるって聞いたけど、どこにも売ってない！もの申す！

あと、シール!!!前は、めっちゃ売ってて、めっちゃ持っているんだけど、まだ持っていないのあるから買おうと思ったら売り切れ!!

しかも人がすごいし、すぐなくなるから、入場規制かかっちゃった（泣）。もの申す!

*「透明リフィル」シールを貼ったり剥がしたりできる透明なシート。バインダーに綴じて使用する。

おそらく「ぐすく」最年少ファンの珠羽音（みはね）さん、お久しぶりです。100円ショップは何でも揃うスーパーショップ。でも人気の品が売り切れていたり、補充が追いつかなかったり…。ま

だ11歳の珠羽音さんには時間はたっぷりあります。ここは気長に待ってみましょう!

一筆

楽しい歌を!

愛媛県てんちゃん（64）

最近、一人言が増えました。歌ったりもします。何でもないことに笑ったり、おこってみたり、毎日があたりまえに過ぎてゆくのがつまらなくなつて、一人で時間つぶしの為に時間をつくりまします。

今ならまだ出来る、今しか出来ない事、手さぐりでさがしながら、あと何年生きるだろう…。残りの人生が動けるうちに楽しい物語であれば良いと思ひながら。

年老いた母が何年か先の自分の姿であるのかと見ながら、似ている自分が悲しくなってきました。

64歳なんて、まだまだ若い。これからの人生を楽しくするのは、てんちゃん次第です。歌いましょうよ、楽しい歌を。上を向いて歩き

ましよう。

コマ再び!

山形県富川義朗（86）



バクウ研究所の富川義朗さんから、また手作りの独楽が届きました。ふたつの輪がみつになったり、三つ葉が四つ葉、二つ葉になったり…。変幻自在のバクウ独楽を読者の皆さんにプレゼントさせていただきます。子供の頃を思い出して、遊んでみてください。詳しくは52ページで。

五七五

ぐーすーを広げてパズル四苦八苦

茨城県ムーミン (74)

敬老日生きる喜び分かち合ふ

山形県松田隆明 (83)

微笑まし紅葉二枚水たまり

長野県中田勝子 (81)

庭木摘み山茶花咲いて華やかに

岡山県まさ子ちゃん (86)

安らぎの妻の寝息が子守唄

宮城県こんちゃん (81)

ちいさき子なければイブのうどん寿喜

広島県TOMCAT (76)

枯葉ふみ友と語らい若返る

島根県福田早苗 (84)

松茸を食べたつもりでエリンギを

岡山県キョンばあば (91)

暖冬で雪が降らなくなりました

愛媛県大久野島 (73)

朝散歩富士の姿が活力源

埼玉県ゴクミ (74)

さつまいもいつも心をあたためる

京都府かずちゃん

楽しみや週一回のとくし丸

山形県笑いばあ (89)

今年こそもう転ばぬと寝正月

岡山県的場章枝 (94)

パズル 解答

問題1

- 白 (百の漢字の上の一を取ると白になるから)
- 占い師 (売らない師だから)
- テニス (手に詐)
- ソフトクリーム (祖父とフリーム)
- 雉 (きじ) (新聞にのっているのは記事だから)

問題2

ツ	キ	ワ	ク	マ	ヒ
ウ	キ	シ	ミ	ア	ゴ
フ	イ	カ	コ	マ	
ウ	ツ	ロ	ホ	ウ	ウ
ク	パ	ン	ト	ラ	ノ
ロ	ツ	コ	ウ	ウ	シ
ハ	ツ	ウ	カ	イ	ダ
タ	コ	ン		キ	テ

問題3



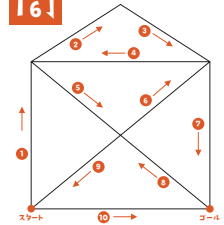
問題4

- オックス
- ジャガーズ
- タイガース
- テンパターズ
- スパイダース
- ワイルドワンズ

問題5

3	2	7	3	2	4
6	5	4	6	5	7
9	8	1	9	8	1

問題6



問題7

答え:6分

1500W×2分=3000W分
600W×5分=3000W分
この食材には3000W分の熱量が必要なので、
3000÷500=6となります。

おしまい。

「ぐーすー」は毎号、偶数月の1日に発売していますが、そのためにはお便りを一か月前くらいに締め切らなければなりません。締め切り後に届いて仕方なく掲載を見送ったことも…。できればお早めにお願ひします。

思いがけずよみがえった遠い日々の記憶。男たちが「魔性」という幻影を追いかけていたあの時代の呪縛から解き放たれ、今、老いたる伴侶の傍で「ありのまま」でいられる自分を愛おしむ。空も海も美しい、誰もが自由に心地よい、そんな夕暮れどき。

松井久子

Essays by Hisako Matsui — 3

人生は夕暮れからが美しい

33歳で別れた夫とは青春時代のほぼ10年を共に暮らし、濃密な関係を重ね、子をもうけながら、離婚後40数年のあいだ一度も会うことがなかった。

よく、離婚した後も友達のようなつきあいが続いている男女の話聞くが、その二人はよほど器用か、お互い心に受けたダメージが少なかったのだろう。私にはとても真似のできないことだった。

かつてのパートナーの死を知ったせいか、男との日々で、忘れていた思い出の一コマが、突然記憶の底からよみがえってきた。

あの頃、よく家に友達を招いては宴会めいたことをしていて、来客が7、8人の数になると必ず「連想ゲーム」をして遊んだものだ。

誰か一人を題材にして、集まった全員がその人について連想する言葉やメッセージ

を紙に書き、本人はそれを順に読んでもらって、誰の書いたものかを当てるゲームだった。ターゲットを一人ずつ変えて行きながら、自分が周囲の親しい人からどんな見られ方をしているかを知るといって、ちよつとシリアスな側面もあって、毎回夜遅くまで、笑いながら熱中したものだ。

ある日のゲームで、私は別れた夫が書いた言葉を最後まで当てられなかったことを思い出す。彼が私を連想して書いた言葉は、「性なし」というもので、当時よく使われた「女の性」という常套句に登場した、あの言葉である。

そういえば昭和40年代から50年代の頃、女性は（私が一時期マネージメントをしていた）関根恵子や、加賀まりこ、緑魔子といった女優たちの持つ、「魔性」という個性が、



男たちから崇められた時代だった。

私に交際を迫った頃、彼もそういう「女性に振り回されるボク」みたいな男女関係を、思い描いていたのだろうか。ところがいざ一緒に暮らしてみると、相手は「魔性」とか「女のあやうさ」のまるでない女だった。さぞかしがっかりしたことだろう。

当時の私は、今ほど逞しい女ではなかったにせよ、極めて精神のバランスのとれた、理性の勝つ、魔性のかけらもない女だった。そして離婚してからは、仕事に生きる女になって、更に「肝っ玉かあさん」になっていく。

AIの時代になって、幻想は遠いものになったのか。それまで主流だった「男性が求める女性像」の概念は、平成を経て令和のときを迎え、気がつく「魔性の女」などという言葉も今では死語のようになっていく。

夫から「性ない」と書かれたあの日、私は自分が女性として魅力のない女と言われた気がして、長年それをコンプレックスにしてきたかもしれない。

「女の性」とか「女の業」みたいな言葉が、今では古色蒼然としたイメージになって、

そんな語彙さえ知らない若者も増えてきた。

そのぶんきつと昭和を引きずっている男たちには住みにくい社会になり、女たちは「理想の女性像」なんて何のその、主体的に生きるのが当たり前な時代になってきたのだと思う。つまり、やっと女にとって生きやすい社会が実現しつつあるということだ。

先日、仲間たちと6人で宮古島旅行に行つた夜、あの日の連想ゲームを思い出して、皆でやってみることにした。

「この世に、心優しいカントクなんているのでしょうか？」と書いたのは、3年前に再婚した今の夫である。彼も上手に私を欺き、最後まで当てることができなかった。

長年続けてきた市民講座を終えた夫は、2月に93歳になる。

急に老いの兆候が顕著になり出して、心配なことも多くなった。その夜のゲームのおかげで、こちらは「とびきり優しい妻」と思い込んでいても、叱られることの多くなった夫は「また叱られた！」と思っっているのだとわかった。忸怩たる気持ちもあるが、今の私はあの頃と違って、「ありのまま」が許されている。



松井久子(まついひさこ) 1946年岐阜県生まれ東京・深川育ち。雑誌のフリーライターを経て、テレビ番組制作や映画のプロデュースに携わる。50歳で映画監督、74歳で小説家デビュー。2022年、76歳で89歳の子安宣邦氏と再婚。自身の内面と性愛へのまなざしを美しい言葉に紡いだ近著3部作「疼くひと」「最後のひと」「つがいを生きる」が話題に。